

令和 6 年度

保管

第 2 学年シラバス



豊島区立巢鴨小学校

令和6年度 第2学年(国語)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	じゅんばんにならぼう 絵を見てかこう ふきのとう 図書館たんけん 春がいっぱい 日記を書こう ともだちはどこかな たんぽぽのちえ かんさつ名人になろう いなばの白うさぎ 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば 1 メモをとるとき こんなもの、見つけたよ あったらしいな、こんなもの 夏がいっぱい お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
二 学 期	雨のうた ことばでみちあんない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かん字のひろば2 どうぶつ園のじゅうい かたかなのひろば ことばあそびをしよう なかまのことばとかん字 かん字のひろば3 お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください 紙コップ花火の作り方 おもちの作り方をせつめいしよう にたいみのことば、はんたいのいみのことば せかいーの話 かん字の広場 4 みきのたからもの お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい ねこのこ／おとのはなびら／はんたいことば	
三 学 期	かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば 見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホの白い馬 かん字の広場5 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって	

〈授業の工夫〉

- 発声や発音、語句、文や文章、言葉遣いなどの日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、語彙を豊かにします。
- 伝え合う力を高めたり、自分の感想をもったりすることができるようにするために、単元のねらいに沿った言語活動を設定します。
- ワークシートを使って家庭学習を行い、授業で知識や技能を定着させます。

〈評価について〉

- 言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか評価します。
 - 日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか評価します。
 - 言葉がもつよさを感じるとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか評価します。
- 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや、作品、作文、発表、少人数の話し合い活動の様子などを基に評価します。

〈学習方法など〉

- 平仮名、片仮名、漢字の定着を図るためにドリルや学習ノートなどの家庭学習を継続します。
- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する力を育むために、音読カードを使って家庭学習を継続します。
- 楽しんで読書ができるよう、学校図書館の本や巣鴨図書館図書ネット便を活用します。

令和6年度 第2学年(算数)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	※学びのとびら 1. わかりやすく あらわそう 2. たし算の しかたを 考えよう 3. ひき算の しかたを 考えよう ※どんな計算になるのかな？ 4. 長さを はかって あらわそう 5. 100 より 大きい 数を しらべよう 6. 水の かさを はかって あらわそう 7. 時計を 生活に 生かそう	【知識及び技能】 ○数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
二 学 期	8. 計算の しかたを くふうしよう 9. ひっ算の しかたを 考えよう 10. さんかくや しかくの 形を しらべよう 11. 新しい 計算を 考えよう 12. 九九を つくろう	【思考力・判断力・表現力等】 ○数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。
三 学 期	13. 1000 より 大きい 数を しらべよう 14. 長い 長さを はかって あらわそう 15. 図を つかって 考えよう 16. 分けた 大きさのあらわし方をしらべよう 17. はこの 形を しらべよう ※計算ピラミッド ※2年のふくしゅう	【学びに向かう力・人間性等】 ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○第1学年の学習経験とのつながりを大切にし、必要に応じて具体物や図を用いながら数学的な処理や表現の基礎となる技能が習得できるようにします。 ○問題解決の過程や結果について、数学的表現を用いて考えたり伝え合ったりする活動を取り入れます。 ○日常生活で活用する算数のよさに触れることができるように指導を工夫します。		
〈評価について〉 ○第1学年の学習内容を基に、基本的な数量や図形の概念や意味、性質を確実に理解しているか、数理的な処理や表現の基礎となる技能を習得しているか評価します。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」において必要に応じて具体物を操作しながら考察したり、簡潔に表現したり、適切に判断したりしているか評価します。 ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしているか評価します。 以上のことを、単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノート、計算ドリルなどを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習プリントに継続的に取り組みます。 ○計算処理の確実な定着を図るために、九九カードやドリル学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。		

令和6年度 第2学年(生活)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	2年生がはじまるよ 町たんけん1 みんながつかう場しょへ行こう ぐんぐんそだてみんなのやさい 夏休みを楽しくすごそう	【知識及び技能】 ○活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。
二 学 期	生き物はかせになろう 町たんけん2 グループで出かけよう	
三 学 期	あそび名人になろう こんなに大きくなったよ	
〈授業の工夫〉 ○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの直接働きかける学習活動、また、そうした活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって表現する学習活動を主体的に行います。 ○遊びを通した総合的な学びを生かし、具体的な活動や体験を通して感性を豊かに働かせるとともに、身近な出来事から気付きを得て考えるようにします。 ○他教科等との関連を図り、子供たちの生活とつながる学習活動を取り入れます。 ○活動や体験を十分に行之、自分の中の気付きを明確にしたり、それぞれの気付きを共有し関連付けたりして、言葉などにより振り返ります。		
〈評価について〉 ○具体的な活動や体験、伝え合いや振り返りの中で、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や本質的な価値、それぞれの関係や関連に気付くこと。 ○身近な人々や、社会及び自然と直接関わり合う中で、生活上必要な習慣や技能を身に付けること。 ○児童が自分自身や自分の生活について、学習活動により、分析的に考えること、創造的に考えること。 ○気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすること。 ○思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会生活及び自然に働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする事。 以上のようなことを単元ごとに総合的に評価します。		
〈学習方法など〉 ○試行錯誤したり繰り返したりして、対象に何度も関わりながら体全体で学びます。 ○伝え合い交流する場で、一人一人の気付きを全員で共有し、全員で高めていきます。 ○見付ける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行い、活動や体験したことを言葉などによって振り返るようにします。 ○多様性を生かし、互いのよさやそれぞれの気付きを認め合えるようにします。		

令和6年度 第2学年(音楽)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	○音楽で みんなと つながろう メッセージ 子犬の ビンゴ ロンドンばし かくれんぼ ティニクリン エースオブダイヤモンド とーしんどーイ ドードレプスカ ポルカ ○はくの まとまりを かんじとろう はしの 上で 2びょうしてリズムあそび たぬきの たいこ 3びょうして リズムあそび ミッキーマウスマーチ メヌエット ○ドレミで あそぼう ドレミの うた かっこう かえるのがっしょう ぷっかりくじら 鍵盤ハーモニカでせんりつあそび ○せいかつの中にある音を 楽しもう なきごえをつかってあそぼう 虫の こえ	【知識及び技能】 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学び向かう力、人間性等】 ○楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
二 学 期	○リズムを かさねて 楽しもう この空 とぼう 2びょうしてリズムあそび いるかは ざんぶらこ 山のポルカ ○くりかえしを 見つけよう かねがなる おまつりの音楽 トルコ こうしんきよく ○いろいろな がっきの 音を さがそう だがっきパーティー がっきで おはなし かぼちゃ ○ようすを おもいうかべよう あのね、のねずみは たまごのからをつけた ひなどりのバレエ タヤケコヤケ 小ぎつね	
三 学 期	○日本の うたで つながろう ずいずいずっころばし あんたがたどこさ なべなべそこぬけ 名前で せんりつあそび ○みんなで あわせて 楽しもう 楽しいね こぐまの二月 エンターティナー はるがきた	

〈授業の工夫〉

- 音楽表現を楽しめるように、段階的に学習します。
- 身の回りの様々な音楽に親しみ、曲や演奏の楽しさを得られる教材を用意します。
- 友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を楽しく伝え合う場を多く設定します。

〈評価について〉

- 題材の表現や技能だけでなく、楽しく音楽活動に取り組んでいるかを評価します。
- 音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか工夫している様子を学習カードや音楽活動を通して評価します。
- 友達との音楽活動を楽しみながら取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子进行评估します。

〈学習方法など〉

- ねらいと振り返りの連動による学びの探求ができるように学習内容を工夫します。
- 考えを広げ深める場を設定し、友達と協働しながらよりよい表現ができるような活動方法を工夫します。

令和6年度 第2学年(図工)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	オリエンテーション メダルづくり たのしいかたちやいろのせかい おはなみスケッチ ひかりのプレゼント にぎにぎねん土 わっかでへんしん ふしぎなたまご しんぶんしとなかよし まどからこんにちは	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通し気付いている。手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、楽しく発想や構想をしたり、身に回りにある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
二 学 期	たのしかったよ、ドキドキしたよ いろの見え方むげん大 つないで つるして 音づくりフレンズ はさみであーと おもいでをかたちに ことばのかたち 廃材からコマをつくろう(ものづくり授業) わくわくおはなしゲーム	【学びに向かう力、人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
三 学 期	だんボールに入ってみると パタパタストロー ともだちハウス たのしくうつして ともだち 見つけた	

〈授業の工夫〉

○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。

○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。

〈評価について〉

○一人一人の活動の様子や作品の製作過程から、本人の思いや創意工夫を見ていきます。

○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、鑑賞の時間を設定し、記述内容を評価します。

〈学習方法など〉

○児童の作品を定期的に廊下へ掲示し、友達の作品のよさを学び合える環境作りをしていきます。

○11月の展覧会では、児童が取り組んできた作品を保護者や地域の方に公開します。

令和6年度 第2学年(体育)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	体ほぐしの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び(バランス・用具) かけっこ・リレー遊び 走の運動遊び 跳の運動遊び 運動会に向けて 体力テスト 水遊び・水泳学習における安全について	【知識及び技能】 ○各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
二 学 期	体ほぐしの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び(バランス・用具) 鬼遊び 走の運動遊び(リレー) ゲーム(ボール投げゲーム) 鉄棒を使った運動遊び マットを使った運動遊び 跳び箱を使った運動遊び	【学びに向かう力・人間性】 ○各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意したりして、意欲的に運動する態度を養う。
三 学 期	多様な動きをつくる運動遊び 走の運動遊び(持久走を含む) 固定施設を使った運動遊び "多様な動きをつくる運動遊び (バランス・移動・用具・力試し) ボールけりゲーム 表現リズム遊び	
〈授業の工夫〉 ○個の実態に応じた課題の達成に向けて挑戦できるように場の工夫をしたり、学習カードを用意したりして、一人一人の意欲や体力・技能を伸ばすようにします。 ○みんなが楽しめるようなルールや運動を工夫して考え、児童にわかりやすく提示するようにします。 ○安全に遊ぶための決まりやルールを考えさせるようにします。		
〈評価について〉 ○運動遊びの基本的な動きについての評価のほかに、学びに向かう力、人間性、思考力、判断力、表現力を評価します。 ○学習カードを用いて自分の学習を振り返ったり、行った工夫を見付けたりする自己評価や、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場の用具や安全に気を配ったりする様子を観察し、評価します。		
〈学習方法など〉 ○なわとび月間、持久走月間を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。学習カードを活用し、運動遊びをする場や、練習の仕方などを自分の力で工夫したり選択したりできるようにします。		

令和6年度 第2学年(道徳)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	節度、節制 礼儀 規則の尊重 よりよい学校生活、集団生活の充実 善悪の判断、自律、自由と責任 友情、信頼 個性の伸長 親切、思いやり 自然愛護 生命の尊さ 感謝	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第1学年及び第2学年重点目標】 ○善悪の判断をし社会生活上のきまりを守ること ○友達と仲良くし、助け合うこと ○自分の好き嫌いにとらわれないで接すること 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 学習指導要領に示された内容項目(第1・2学年)は、それぞれの学年において網羅されています。
二 学 期	よりよい学校生活、集団生活の充実 善悪の判断、自律、自由と責任 公正、公平、社会正義 正直、誠実 規則の尊重 希望と勇気、努力と強い意志 個性の伸長 勤労、公共の精神 公正、公平、社会正義 礼儀 親切、思いやり 生命の尊さ 家族愛、家庭生活の充実 勤労、公共の精神 感動、畏敬の念	
三 学 期	節度、節制 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 生命の尊さ 正直、誠実 感謝 友情、信頼 希望と勇気、努力と強い意志	

〈授業の工夫〉

○道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方について考えを深めていくことを大切にします。

〈評価について〉

○道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ワークシートやオクリンクへの記述を基に肯定的評価をします。

〈学習方法など〉ワークシートやオクリンクを使って学習します。

学習の流れ

①教材文の状況を把握する。②登場人物の思いを共通理解する。③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。

